

令和元年度 事務事業総点検シート(1)  
[平成30年度事務事業]

一般会計		事務事業分類			詳細点検
事務事業名	タクシー利用料金助成			シート番号	A 一般事務事業
担当部署名	健康福祉	局	障害福祉	部	障害者支援 課 評価責任者(課長名)
					増田

Ⅰ. 基本情報

基本情報	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	1	暮らしの確かな安全・安心を確保します	後期実施計画の位置付け
			施策	3	障害者等が自分らしく輝いて暮らせる地域社会の実現	無
	2	事業開始年度	平成 5 年度		終了(予定)年度	— 年度
	3	根拠法令等(法令、条例、規則、要綱等)	堺市重度障害者福祉タクシー利用料金助成要綱			
	4	関連計画	第4次堺市障害者長期計画			
5	事業実施の経緯	重度心身障害者(児)の社会参加促進とその福祉の増進を図るため、平成5年度から事業を開始した。				

Ⅱ. 事業概要

事業概要	6	事業の実施主体(誰が実施しているのか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 本庁 <input checked="" type="checkbox"/> 各区 <input type="checkbox"/> 出先機関 ( ) <input type="checkbox"/> 市外郭団体 <input type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input type="checkbox"/> その他 ( )			
	7	事業の対象(誰を、何を対象としているのか。)	・身体障害者手帳の等級が1級または2級で、視覚・肢体(下肢、体幹)・内部障害に該当する者 ・療育手帳の等級がA(重度)の者			
	8	事業の目的(どのような状況にしたいのか。)	重度心身障害者(児)の社会参加とその福祉の増進を図るため、日常生活を営む上で移動手段であるタクシーの利用料金の一部助成を目的とする。			
	9	事業内容(スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	対象者が障害者タクシーチケットを利用した場合、初乗り料金の9割相当額を助成する。 実施手法 ・市とタクシー会社が1年度ごとに契約。 ・市から対象者に障害者タクシーチケットを交付。 ・契約タクシー会社が障害者タクシーチケットを受領した場合、初乗り料金の9割に相当する額をタクシー会社から市に請求。 ・残額を利用者が支払う。			
10	直接実施以外の主な支出先	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金 <input checked="" type="checkbox"/> その他 ( 扶助費 ) 契約タクシー会社				

Ⅲ. 投入量

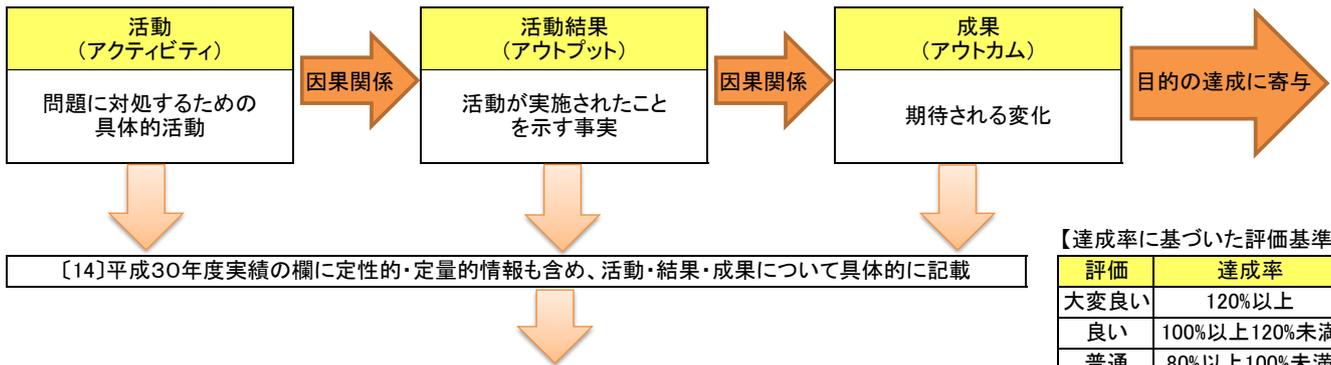
項目		単位	H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算	R1年度予算	
事業コスト	11 事業費 (a)	千円	52,954	55,207	53,184	55,281	
	主な事業費内訳	扶助費	千円	49,525	49,194	47,464	49,839
		委託料	千円	2,342	0	0	0
		需用費	千円	747	976	1,072	750
		役員費	千円	340	5,037	4,648	4,692
		国・府支出金	千円				
	財源内訳	受益者負担金(使用料、手数料等)	千円				
		市債	千円				
		その他( )	千円				
	12 人件費 (b)	千円	1,640	1,640	1,640	1,620	
	13 総コスト(c)=(a)+(b)	千円	54,594	56,847	54,824	56,901	

## 令和元年度 事務事業総点検シート(2)

事務事業名	タクシー利用料金助成	シート番号	11-155
-------	------------	-------	--------

### ≪Ⅳ. 評価(測定・分析)≫

#### ロジックモデルの考え方



[14]平成30年度実績の欄に定性的・定量的情報も含め、活動・結果・成果について具体的に記載

[15]または[16]に定量的な指標、または定性的な目標を記載

#### 【達成率に基づいた評価基準】

評価	達成率
大変良い	120%以上
良い	100%以上120%未満
普通	80%以上100%未満
少し悪い	60%以上80%未満
悪い	60%未満

#### 事業の活動内容や成果

		平成30年度実績						
活動実績と成果	14	重度心身障害者(児)の社会参加とその福祉の増進を図るため、平成30年度においても障害者タクシーチケットを交付した。平成30年度における障害者タクシーチケット交付者数は12,657人、利用件数は80,840件であった。						
	15	指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
		交付者数	人	目標値	-	-	-	-
				実績値	12,443	12,598	12,657	-
				達成率	-	-	-	-
				評価	-	-	-	-
	算出方法・設定根拠など		本事業は、要件を充足すれば交付対象者となるため、数値化した目標は設定しない。					
	16	指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
		利用件数	件	目標値	-	-	-	-
				実績値	82,259	81,533	80,840	-
達成率				-	-	-	-	
評価				-	-	-	-	
算出方法・設定根拠など		利用件数は、タクシーチケットを交付された重度障害者の個別事情に依るため、目標値は設定しない。						

#### 業績の分析

17	目標を達成できた、または達成できなかった要因についての分析 (その他、関連情報に基づいた分析)
	交付者数は微増、利用件数は微減であるが、ほぼ横ばいで推移しており、変わらず一定のニーズがあるものと考えられる。

#### 【分析のチェックポイント】

- 事業の達成度はどうでしたか。
- 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありませんでしたか。
- 資源投入は適切でしたか。
- 事前想定できない外的要因の影響はありませんでしたか。
- 事業の有効性は高いですか。低いですか。